

# アレルギー疾患対策推進事業 岡山アレルギー疾患講演会

岡山国際交流センター 2階 国際会議場

2024年 2月4日(日) 開場 12:30 終了 16:00  
講演………先着申込順 120名

講演 ① 13:00 ~ 14:00

「子どものアトピー性皮膚炎と食物アレルギー」  
～予防と治療に役立つ最新情報～

講師 国立成育医療研究センター  
アレルギーセンター長 大矢 幸弘 先生

講演 ② 14:00 ~ 14:40

「食物アレルギーにおけるアナフィラキシーへの対応」

講師 岡山大学 学術研究院 医歯薬学域  
小児急性疾患学 准教授 津下 充 先生

会場での講演後実践型研修を行います …………… 先着申込順 42名

- エピペン®トレーナーの使用方法について
- ロールプレイ
- グループワーク(ロールプレイの感想や意見交換)

※ 実践型研修のみの参加はできません。  
※ 実践型研修は、医療従事者・栄養士・教育保育職の方のみの参加に限らせていただきます。

## WEB 配信

2024 2.16(金) ~ 3.10(日)

※会場での講演及び実践型研修を動画配信します。  
※WEB配信のみ希望の方も事前のお申込みが必要です。  
※会場での参加希望の方もWEB配信を視聴いただけます。

### 講演会参加対象の方

- 医療従事者の方
- 教育・保育関係者等アレルギー疾患に関わる専門職種の方
- アレルギー疾患に関心のある方

参加希望の方は事前のお申込みが必要です。お申込み方法については裏面をご覧ください。

### お問い合わせ先

(独) 国立病院機構南岡山医療センター  
アレルギー疾患医療拠点病院対策室

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島 4066

電話：086-482-1121 FAX：086-482-3883

E-mail：505-minami-arerugi@mail.hosp.go.jp

主催：(独) 国立病院機構南岡山医療センター、岡山大学病院、岡山県

共催：(公財) 日本アレルギー協会中国支部

後援：岡山県教育委員会、岡山市、倉敷市、早島町、(公社) 岡山県医師会、

(公社) 岡山県看護協会、(一社) 岡山県薬剤師会、岡山県病院薬剤師会、

1 (公社) 岡山県栄養士会、山陽新聞社、RSK山陽放送

# アレルギー疾患対策推進事業 岡山アレルギー疾患講演会 お申し込み方法

参加ご希望の方は、下記の URL か二次元コードでアクセスし、  
ホームページよりお申し込みください。

<https://okayama-allergy.jp/>



## 講演会の参加について

- お申込を行うと、仮登録の受付メールが自動送信されます。事務局でお申し込みを確認後、登録手続きを行い申込完了のメールをお送りします。このメールの受信を持って申込みが完了となります。
- 会場での講演に参加をご希望の方は、2/4（日）に岡山国際交流センターにお越しください。
- 会場での講演は、お申込み先着 120 名となります。  
※先着の人数を超えた場合のお申込みは、WEB 配信のみの受付とさせていただきます。
- 実践型研修は、会場での講演会に参加希望の方の内、先着 42 名様となります。ご希望の方は申込時に入力してください。  
※実践型研修は、医療従事者・栄養士・教育保育職の方の参加に限らせていただきます。
- WEB 配信視聴のみご希望の方も、参加のお申込みは必要です。
- 会場での参加を希望の方も WEB 配信を視聴いただけます。
- WEB 配信を視聴ご希望の方は申込時に任意のパスワードを設定してください。登録したメールアドレスと設定したパスワードで視聴期間中に動画視聴ページにログインできます。



### 会場開催

2024年2月4日（日）  
岡山国際交流センター 2F 国際会議場  
〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町 2-2-1  
TEL：086-256-2000

### WEB 配信

2024年2月16日（金）～3月10日（日）

## 申込時送信必須内容

名前、住所、職業、参加について、参加方式（会場・WEB）、  
実践型研修の参加、メールアドレス

上記必要内容を入力の上、申込登録を行ってください

**申込締切日 令和6年1月12日（金）**

申込後のメールが届かない場合は、下記までお問い合わせください

お問い合わせ先

岡山アレルギー疾患講演会サイト

Web 申込サポート

E-mail：support@okayama-allergy.jp

お申し込み方法等よくあるご質問については  
こちらの Q&A ページをご参照ください

<https://okayama-allergy.jp/qa>



# 令和5年度岡山アレルギー疾患講演会について

## 1. 岡山アレルギー疾患講演会参加者について

WEB参加を含む講演会申込者の職種 (N=430)

医師	51
看護師	79
薬剤師	40
栄養士	66
教育・保育関係者	134
その他	60

会場参加者の職種 (N=82)

医師	4
看護師	22
薬剤師	5
栄養士	8
教育・保育関係者	12
その他	2
院内スタッフ	19
院外スタッフ	10

## 2. 岡山アレルギー疾患講演会における実践型研修申込者事前アンケートの結果

研修申込者の職種 (N=34)

医師	2
看護師	8
薬剤師	5
栄養士	6
教育・保育関係者	13

今までにエピペン®の使用方法に関する研修を受けたことがありますか (N=34)

受けたことはない	13	医1、看4、薬4、栄2、教2
1回以上	14	看3、薬1、栄4、教6
3回以上5回未満	2	教2
5回以上	5	医1、看1（保育園）、教3

エピペン®を適切に使用できますか (N=34)

できる	10	医1、看2、薬1、栄1、教5
助言があればできる	19	医1、看5、薬3、栄3、教7
できない	5	看1、薬1、栄2、教1

所属の施設においてエピペン®を携帯しているお子さんはいますか (N=34)

いる	16
いない	18

\*上記の問いに「いる」と回答したうちの3名が「エピペン®の使用方法に関する研修」を受けたことがないと回答

### 3. 実践型研修参加者アンケート調査の結果

本日の実践型研修のロールプレイについて感想を教えてください (N = 26)

大変満足	13	50%
満足	13	50%
少し不満	0	
不満	0	

本日の実践型研修のグループワークについて感想を教えてください (N = 26)

大変満足	14	53.80%
満足	12	46.10%
少し不満	0	
不満	0	

本日の研修を受けて、エピペン®を適切に使用できますか (N = 26)

できる	22	84.6%
助言があればできる	4	15.4%
できない	0	0.0%

**研修前** アンケート (参加者のみ抽出 N = 29)

できる	8	27.6%
助言があればできる	17	58.6%
できない	4	13.8%

食物アレルギーにおける緊急時対応に関する実践型研修に今後も参加したいですか (N = 26)

参加したい	26	100%
参加したくない	0	

実践型研修についてご意見やご希望があれば記入してください (自由回答)

- ・もう少し時間があった方がよい
  - ・事前にグループでイメージ役割を共有することを確認して動くことが必要だったかも。紙上シミュレーションもいいかもしれないですね。ありがとうございました。
  - ・ロールプレイに関する前説明がもっとあれば嬉しかったです。エピペンを打つことができたのはとてもありがたかったです。
  - ・グループワーク、もう少し時間をとっていただいてもよかったかもしれない、話がつきない。
  - ・もっと困ったロールプレイに次回は参加したい。3巡くらいあっても良いと思う。
  - ・もう少し時間経過でアレルギー反応がおきた想定で対応できればよかったかもしれません。
  - ・何度でも練習したい。
  - ・ドクターからの助言もあり、日ごろ思っていることを質問できよかったです。ありがとうございました。
  - ・ロールプレイをする機会があるのはとても良いと思います。
  - ・とても参考になりました。次回の予定があれば又教えて欲しいです。ありがとうございました。
  - ・現場の職員全員に周知できるよう伝えていきたい。
  - ・わかりやすく指導助言、ありがとうございました。
  - ・とても有意義な研修になりました。ありがとうございました。
  - ・所属がバラバラなので、様々な視点の意見がきけてよかったです。
- 明日すぐ生かせる情報をえることができました。

## アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査の広報について

### 1 広報概要

アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査の実施にあたり、県内医療機関に対し広報を実施した。本調査は「岡山県電子申請サービス」の使用により、オンラインでの回答であったため、郵送だけでなくチラシ等により調査実施を広報した。

回答期間は、令和5年12月1日から令和6年1月10日。

### 2 実施内容

#### (1) 医療機関への事務連絡とチラシ送付

実施日：令和5年12月5日

対 象：前回回答した医療機関 586 か所

#### (2) 岡山県医師会報にチラシを同封

実施日：令和5年12月1日（第1610号）、12月15日（第1611号）

#### (3) 医師会のメーリングリスト

実施日：令和5年12月4日

令和 5 年 1 2 月 吉日

各医療機関 御中

※この手紙は、令和 2 年度に実施した「アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査」  
にご回答をいただいた医療機関あてに送付させていただいております。

独立行政法人国立病院機構南岡山医療センター  
岡山県保健医療部健康推進課

### アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査について（お願い）

県のアレルギー疾患対策の推進につきましては、平素より格別の御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、県ではアレルギー疾患専門医療機関について県民へ情報提供するため、県ホームページにアレルギー疾患専門医療機関リストを公開しているところですが、この度、このリストを更新するため、改めて調査を行うことといたしました。

つきましては、御多忙のところ大変恐縮ではございますが、当調査に御協力くださいますようお願いいたします。

### 記

#### 1 依頼内容

アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査への回答

#### 2 回答方法

岡山県電子申請サービスにアクセスし、入力フォームに沿って入力  
(詳細は、同封のチラシをご覧ください。)

#### 3 回答期限

令和 6 年 1 月 1 0 日（水）

#### 4 留意事項

- ・ご回答をいただけなかった場合、前回調査のご回答の内容により更新させていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ・県ホームページで公開しているリストは、前回調査の回答で公開に許諾された医療機関のみ掲載しています。そのため、前回調査で回答をいただいた医療機関でも、公開を許諾されていない場合は掲載されておりません。

#### 【問い合わせ先】

岡山県保健医療部健康推進課（大隅、青戸）

TEL:086-226-7328【直通】

アレルギー疾患を診療されている医療機関様へ

## アレルギー疾患専門医療機関 リスト化調査のお願い

岡山県ホームページで公開中の

「アレルギー疾患専門医療機関リスト」の更新に  
ご協力ください。

回答は10分程度で終わります。

(R2年度に回答いただいた方も、再度回答をお願いします。

前回回答内容は、県HPをご覧ください。)

県HP：<https://www.pref.okayama.jp/page/detail-24397.html#list>



回答期限：令和6年1月10日（水）

▼詳細・回答はこちらから



[https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/  
offerList\\_detail?tempSeq=31620](https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=31620)

**【問い合わせ先】**

〈調査全般、内容について〉

国立病院機構 南岡山医療センター

Mail:505-minami-arerugi@mail.hosp.go.jp

〈食物アレルギーの診療体制構築調査について〉

岡山大学小児科医局（担当：津下、斎藤、茂原、宇田）（平日9：00～17：00）

TEL：086-235-7249 Mail:tsugemitsuru@okayama-u.ac.jp

〈回答方法（岡山県電子申請サービス）について〉

岡山県保健医療部健康推進課健康づくり班（担当：大隅、青戸）

TEL：086-226-7328 Mail:kensui@pref.okayama.lg.jp

## 岡山県における食物アレルギーの診療体制構築のための調査 調査結果報告

☆回答施設数:34 施設

小児科標榜の有無	あり	32 施設
	なし	2 施設

## 問1 本調査の情報公開を許諾されますか。

一般に向けて公開を許諾	27 施設
医療機関に限り許諾	4 施設
情報公開は希望しない	3 施設

## 問2 貴施設における小児食物アレルギー診療経験の有する医師の人数を教えてください。

3 名以上	6 施設
2 名	11 施設
1 名	15 施設
無回答	2 施設

## 問3 貴施設における医師以外の食物アレルギー診療に携わるスタッフを教えてください。

看護師	24 施設
管理栄養士	13 施設
薬剤師	8 施設
小児アレルギーエデュケーター	4 施設
その他 メディカルアシスタント	1 施設
なし/無回答	7 施設

## 問4 貴施設で行っている食物アレルギーの診療内容について教えてください。

問診や食物日誌による摂取状況の確認	28 施設
アレルゲン特異的 IgE 抗体検査	31 施設
皮膚プリックテスト	16 施設
食物経口負荷試験	31 施設
食物負荷運動誘発試験	7 施設
食事指導	30 施設
(経口負荷試験で判明した摂取可能量を超えずに摂取継続する)	
経口免疫療法	14 施設
(経口負荷試験で判明した摂取可能量を超えて漸増する)	



アナフィラキシーへの初期対応・アドレナリン筋肉注射	28 施設
アドレナリン自己注射薬(エピペン(R))の処方と注射指導	29 施設
アレルギー用治療乳(加水分解乳・アミノ酸乳・大豆乳など)の指導	22 施設
学校生活管理指導表の記載	30 施設
無回答	2 施設

**問5 食物経口負荷試験の年間実施件数を教えてください。**

101 例以上	4 施設
51～100 例	3 施設
31～50 例	5 施設
11～30 例	9 施設
10 例未満	10 施設
無回答	3 施設

**問6 食物経口負荷試験の実施形態を教えてください。**

外来のみ(入院はなし)	19 施設
日帰り/一泊以上の入院のみ(外来はなし)	7 施設
両方(外来と入院)	5 施設
無回答	3 施設

**問7 食物経口負荷試験の実施可能な年齢を教えてください。**

1 歳未満	28 施設
1～5 歳	29 施設
6～12 歳	28 施設
13～15 歳	25 施設
16～18 歳	14 施設
19 歳以上	10 施設
無回答	3 施設

**問8 アナフィラキシーなどの重篤な既往がある患者(※)に対し、食物経口負荷試験の制限はありますか。**

※アナフィラキシー、アナフィラキシーショック、呼吸器症状などの重篤な既往(直近1年は既往のない)患者

施行できる	21 施設
施行しない	10 施設
無回答	3 施設

**問9 微量の原因食物摂取による誘発症状の既往がある患者に対し、食物経口負荷試験の制限はありますか。**

施行できる	21 施設
施行しない	10 施設
無回答	3 施設

**問 10 以下の患者(※)に対し、食物経口負荷試験の制限はありますか。**

**※未摂取だがアレルギー特異的 IgE 抗体高値(イムノキャップクラス 5 または 6)あるいは皮膚プリックテスト強陽性の患者**

施行できる	17 施設
施行しない	15 施設
無回答	2 施設

**問 11 心疾患、呼吸器疾患、精神疾患等の基礎疾患のある患者に対し、食物経口負荷試験の制限はありますか。**

施行できる	17 施設
施行しない	15 施設
無回答	2 施設

**問 12 気管支喘息が併存するが安定している患者に対し、食物経口負荷試験の制限はありますか。**

施行できる	31 施設
施行しない	1 施設
無回答	2 施設

## 7 アレルギー疾患対策

### 1 現状と課題

現 状	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○アレルギー疾患を有する者は増加しており、乳幼児から高齢者まで約2人に1人が何らかのアレルギー疾患を有していると言われています。</li> <li>○アレルギー疾患について県ホームページで情報を提供しているほか、県保健所・支所でアレルギー相談等を実施しています。</li> <li>○食物アレルギーは重症例もあるため、学校・保育所等において取組を進めています。</li> <li>○アレルギー疾患は、生活する環境や生活の仕方などに大きく影響されます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アレルギー疾患を有する者は、長期にわたり生活の質を著しく損なうことがあります。また、突然症状が増悪することにより、致死的な転帰をたどる例もあります。</li> <li>○県民や医療機関等へのアレルギー疾患に係る情報提供の充実や、適切な相談を行うための人材の育成が必要です。</li> <li>○学校・保育所等において、アレルギーへの適切な対応について、理解を進める必要があります。</li> <li>○気管支ぜん息の発症及び重症化を予防するため、受動喫煙の防止等を更に推進する必要があります。</li> </ul>

### 2 施策の方向

項 目	施策の方向
医療提供の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門医療機関等と連携し、アレルギー疾患に対応できる体制の充実を図ります。</li> <li>○関係機関・団体等と連携し、医療従事者の育成に努めます。</li> </ul>
情報提供・相談体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県ホームページ等でのアレルギー疾患に関する情報提供を充実させます。</li> <li>○関係機関・団体等と連携し、相談体制を充実させるほか、関係者を対象とした研修会を開催します。</li> </ul>
生活環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>○改正健康増進法や岡山県受動喫煙防止条例の周知・徹底を図り、受動喫煙のない環境整備の取組を推進します。</li> </ul>

### 3 数値目標

項 目	現 状	令和5年度末目標 (2023)
医療従事者向けアレルギー研修会 参加者数（累計）	0人 H28年度 (2016)	600人

## 第9次岡山県保健医療計画（案）から抜粋

章名	9 保健・医療・介護(福祉)の総合的な取組の推進
節名	1 健康増進

## 7 アレルギー疾患対策

## 1 現状と課題

現状	課題
<p>○アレルギー疾患を有する者は増加しており、乳幼児から高齢者まで約2人に1人が何らかのアレルギー疾患を有していると言われています。</p> <p>○アレルギー疾患について県ホームページで情報を提供しているほか、県保健所・支所でアレルギー相談等を実施しています。</p> <p>○食物アレルギーは重症例もあるため、教育委員会等と連携し、学校・保育所等への情報提供等の取組を進めています。</p> <p>○アレルギー疾患は、生活する環境や生活の仕方などに大きく影響されます。</p> <p>○アレルギー疾患対策を総合的に推進するため、岡山県アレルギー疾患医療連絡協議会を設置し、また、南岡山医療センター及び岡山大学病院を岡山県アレルギー疾患医療拠点病院として指定しています。</p>	<p>○アレルギー疾患を有する者は、長期にわたり生活の質を著しく損なうことがあります。また、突然症状が増悪することにより、致命的な転帰をたどる例もあります。</p> <p>○県民や医療機関等へのアレルギー疾患に係る情報提供の充実や、適切な相談を行うための人材の育成が必要です。</p> <p>○学校・保育所等において、アレルギーへの適切な対応について、理解を進める必要があります。</p> <p>○気管支ぜん息の発症及び重症化を予防するため、受動喫煙の防止等を更に推進する必要があります。</p>

## 2 施策の方向

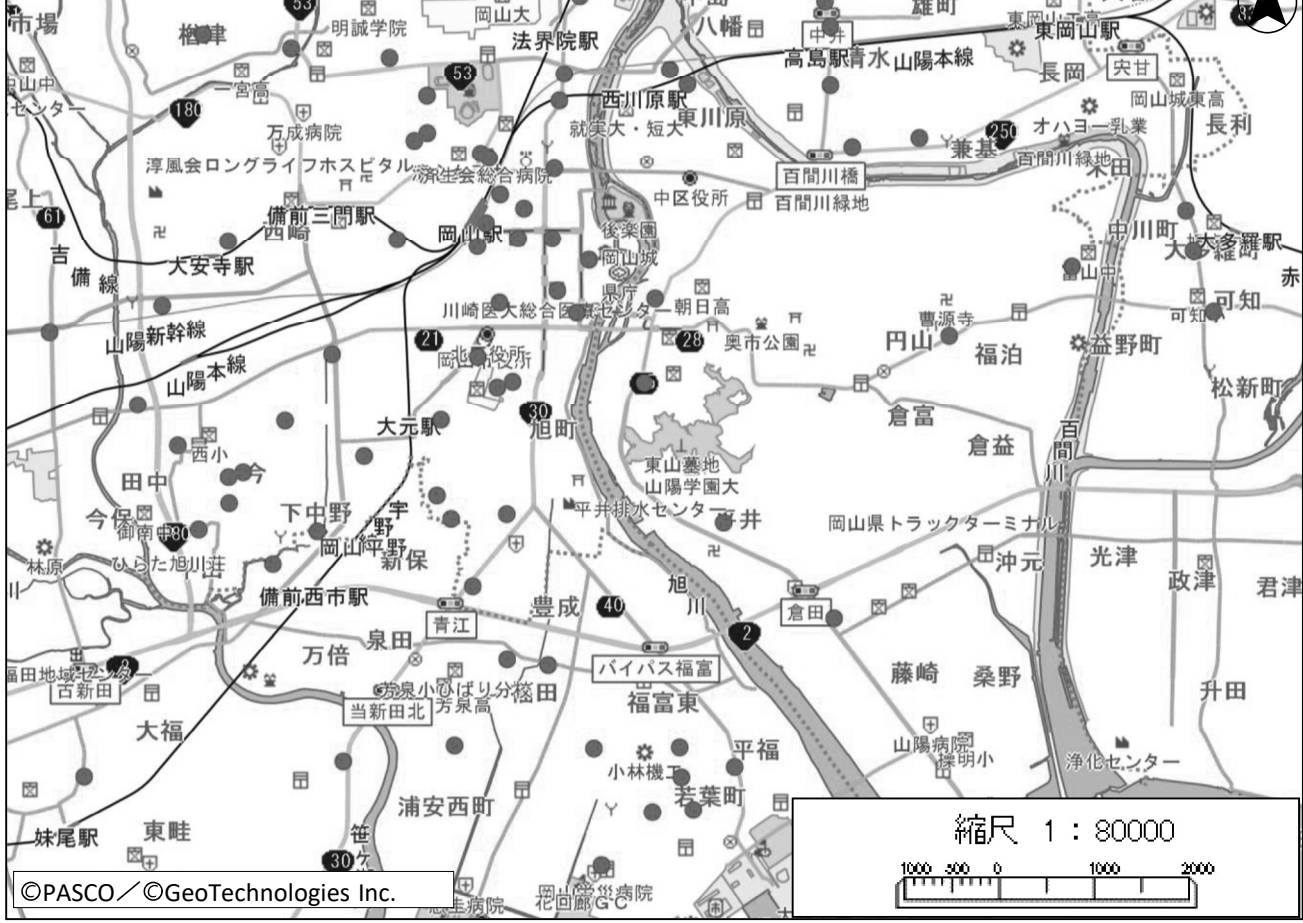
項目	施策の方向
医療提供の確保	○協議会及び拠点病院と連携し、引き続きアレルギー疾患に対応できる体制の充実を図ります。また、研修等を通じて、医療従事者の育成に努めます。
情報提供・相談体制の確保	○アレルギー疾患に関する情報提供や相談体制を充実させるほか、関係者を対象とした研修会を開催するため、協議会及び拠点病院と協力します。
生活環境の改善	○改正健康増進法や岡山県受動喫煙防止条例の周知・徹底を図り、受動喫煙のない環境整備の取組を推進します。



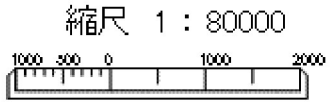
市町村	医療機関名	診療について行っていること				アレルギー疾患に関する救急患者の受け入れ				診療体制について行っていること				医師以外で指検を行っているメディカルスタッフ				備考			
		救急医療	救急医療	救急医療	救急医療	救急医療	救急医療	救急医療	救急医療	救急医療	救急医療	救急医療	救急医療	救急医療	救急医療	救急医療	救急医療		救急医療		
赤穂市	いちどクリニック																				
赤穂市	うさの内科小児科医院																				
赤穂市	こやま小児科																				
赤穂市	医療法人 山陽クリニック																				
赤穂市	医療法人 康生会 兼クリニック																				
赤穂市	医療法人 祥祥会 赤穂皮膚科形成外科																				
吉備中央町	医療法人 賀陽クリニック																				
吉備中央町	下加茂診療所																				
瀬戸内市	おさふねクリニック																				小児科は他県より、三級字内診時は一部事務委託医に依頼
瀬戸内市	せとらら眼科																				
瀬戸内市	医療法人 まつした医院																				
瀬戸内市	医療法人 もちおがクリニック																				
瀬戸内市	医療法人 中川耳鼻咽喉科																				
瀬戸内市	医療法人 瀬須医院																				
瀬戸内市	医療法人 平井医院																				
瀬戸内市	医療法人 通照会 竹内医院																				
瀬戸内市	医療法人 通照会 竹内医院分院																				
瀬戸内市	水野医院																				
瀬戸内市	瀬戸内市立瀬戸内市民病院																				
瀬戸内市	長谷井内科医院																				
瀬戸内市	長田医院																				
玉野市	ハーヴィズクリニック																				
玉野市	医療法人 こやま医院																				
玉野市	医療法人 のうの小児科医院																				
玉野市	医療法人 井上内科医院																				
玉野市	医療法人 眼科康誠会 井上眼科																				
玉野市	医療法人 大智会 高崎耳鼻咽喉科医院																				
玉野市	原田内科クリニック																				
玉野市	糸口皮膚科医院																				
玉野市	水田小児科医院																				
玉野市	石井医院																				
玉野市	大野眼科																				
玉野市	竹原内科																				
玉野市	木下耳鼻咽喉科クリニック																				
玉野市	医療法人 康善会 由良病院																				
備前市	たかげクリニック																				
備前市	医療法人 正風会 浦上医院																				
備前市	専加病院																				
備前市	日生浦上医院																				
備前市	備前市国民健康保険市立吉永病院																				
備前市	備前市国民健康保険市立三田診療所																				
備前市	備前市国民健康保険市立神根診療所																				
備前市	備前市国民健康保険市立備前病院																				
備前市	医療法人 しょう恵会 木村内科																				
備前市	稲美耳鼻咽喉科医院																				
和気町	なかつか眼科																				
和気町	和気小谷医院																				
和気町	和気大田原医院																				
和気町	和気国民健康保険日笠診療所																				

# おかやま全県統合型GIS イメージ

資料5



©PASCO/©GeoTechnologies Inc.



属性編集

項目名	値
名称	国立病院機構南岡山医療センター
住所	都窪郡早島町早島4066
電話番号	086-482-1121
診療科	内科 小児科 耳鼻咽喉科 皮膚科 ...
疾患	気管支喘息(成人) 気管支喘息(小児...
予約	望ましい
紹介状	望ましい
その他必要なもの	
診断検査	皮膚プリックテスト・皮内テスト/皮膚バ...
治療	皮下免疫療法 舌下免疫療法 生物学...
救急患者の受け...	その他(日中は受け入れている。診療...
診療体制	アドレナリン自己注射薬の初回処方 ...
薬剤師	吸入療法/アドレナリン自己注射薬に...
看護師	吸入療法/アドレナリン自己注射薬に...

更新      保存      閉じる